



子供たちが記者になって、市内の企業を紹介。

「広報ひた」 1日記者体験

市では、子供たちの目線で日田市のことを皆さんに知ってもらおうと、8月4日、「広報ひた」1日記者を実施しました。「日田市にはどんな会社があるの？」そんな疑問を持った小学生12人が3つのグループに分かれ、取材したものを記事にまとめました。

このページでは、1日記者が取材した内容や写真を基に日田市の企業を紹介します。1日記者の様子は、市ホームページに掲載しています。

私たちが取材しました！



トライウッドコース
有田小学校6年生



グリーン発電大分コース
若宮小学校5年生



つええピーコース
いつま小学校6年生



グリーン発電大分コース

自然にやさしい発電所

みなさんは、再生可能エネルギーを知っていますか。風力、太陽光、地熱、水力、雪氷、温度差、バイオマスなどの二酸化炭素を出さない発電のこ



代表取締役の森山政美さん



今回は、その中で、動植物などの生物資源によって電気熱、燃料をつくるグリーン発電大分に取材に行ってきました。この施設は代表取締役の森山政美さんが、「山の残材がもったいない」と思っ



平成25年11月に発電所が商業運転を開始して、一時間約5000キロワットを発電し

送っているそうです。これは、一万世帯分で、日田市の人口の2分の1をまかなえるぐらいです。電気ができる

までの行程は、曲が入った木やきずが入った木、間伐されて山に捨てられた木を山から運びます。



そして、その木を燃料として蒸気で発電し、送電します。木を切ったところには新しい木のなえを植林します。



編集後記

吉武木実

私は、日田市に発電所があることを今まで知りませんでした。なので、見学も初めてだし、原子力を使わず自然に優しく環境のことを考えているので、すごいなと思いました。チップを蒸し終わった後の灰は、農家の肥料に使うために、売って、焼砂はグラウンドやゴルフ場の雑草を生やさないようにするために売るので、ごみが出ず、日田市の誇りだなと思いました。

長尾双葉

煙突から煙が出ていると思っていたけど、実は煙のようなものは蒸気だったので、びっくりしました。

谷本風佳

私は最初煙かと思っていたのが、蒸気だったことを初めて知りました。平成25年11月にできたことも知りませんでした。また行きたいです。

川崎奏奈

木で電気をおこしていることを初めて知りました。名前にグリーンが付いているのは木の葉っぱという意味だと思います。いろいろな機械があっ